

## 編集後記

やっと夏が来たと思ったら、もう秋の虫が鳴き始めた今日この頃ですが、皆様におかれましては夏バテなど残さずに元気でお過ごしでしょうか？

あっという間に過ぎ去った今年の夏ではありましたが、今回もまた大変に盛り上がったのが甲子園ではないでしょうか。

青春真っ盛りの高校生たちの素晴らしい活躍に、日本国内だけでなく海外にいる人々も熱く燃え上がったと思います。筋書きは無いのに終わってみるとすべての試合一つひとつが、何らかのドラマを作り上げている。関係者全員が、球場に居ないテレビやラジオの観戦者までもが、若者の清々しい行動に引寄せられ、彼らからももらったさわやかな気持ちを次の自分自身の行動に繋げることができればと願います。

彼らの中の何人かは今後日本代表としてアメリカに出掛け、向こうのチームと対戦してきます。練習風景をテレビで見ていると、何の気負いも無く、自分の力を出し切って楽しんで来たいというような笑顔がうかがえてくる。大変羨ましい限りです。また一つ大きく成長して戻ってきてくれることと思います。その貴重な体験を同僚、後輩だけでなく、高校野球・甲子園と関連するすべての人々に伝えていってくれるでしょう。彼らの残した実績は大きなものであるから、各人のこれからの生活に生涯付いてくることになる。私のような凡人には計り知れない程のものを背

負うのであるが、凡人は非常に欲張りであると共に勝手な人間であるから、ここまで盛り上げてくれた彼らの苦労を省みずにもっと期待をしてしまうのです…。

話は急に変わりますが。本誌読者の皆様にご期待される内容にすべく、編集委員1年生の私も先輩委員にアドバイスをもらいつつ、編集委員会というチームの中で作業してまいりました。今月号のテーマ「維持管理・延命化・長寿命化」にご満足いただけただけでしょうか。技術屋にとっては、一度作り上げたものを簡単には壊したくない。それが、自身の施工したものでなく、人から引継いだものでも一度係わりができた、感動したのもや良いものを見つけたときには、より一層その感覚が強くなると思っております。維持管理というものは日々の生活に密着した、日常に溶け込んでいる内容のものが主体となることが多く、建設時のような派手な面は少なく目立たないかもしれませんが、その仕事には経験や記録に裏打ちされた貴重な内容が豊富に含まれていると考えます。これまでの仕事や社会生活で経験したことのない事項が多数含まれることに戸惑いながらも、何とかここまで漕ぎ着けたというのか、周りの人々に助けられているうちにこの夏のように時間が経過してしまいました。反省をしつつ今後も編集を続けさせていただきたいと思っております。

最後になりますが、突然の依頼にもかかわらず執筆をご快諾くださいました皆様に感謝し、誌面を借りてお礼申し上げます。

(岩本(雄)・岩本(弘))

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宣史
渡邊 和夫	

### 編集委員長

村松 敏光

### 編集委員

清水 純	国土交通省
浜口 信彦	国土交通省
照井 敏弘	農林水産省
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
岩本 弘之	中日本高速道路
新野 孝紀	首都高速道路
坂本 光重	本州四国連絡高速道路
平子 啓二	水資源機構
吉村 豊	電源開発
松本 敏雄	鹿島
和田 一知	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
村上 誠	新キヤタピラー三菱
宮崎 貴志	竹中工務店
銅冶 祐司	東亜建設工業
中山 努	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
芥藤 徹	NIPPO
吉越 一郎	ハザマ
三柳 直毅	日立建機
岡本 直樹	山崎建設
庄中 憲	施工技術総合研究所

### 10月号「情報化施工とIT特集」予告

- ・巻頭言 情報化施工とIT
- ・国土交通省における情報化施工の取組み
- ・国総研の取組み
- ・GPS機能にレーザー機能を融合させた高精度位置検出システム
- ・統合情報化施工管理システム—函館港島防波堤ケーソン撤去工事への適用事例
- ・関西空港第二期工事での情報化施工
- ・WEBデータベースを用いた新しい施工管理手法
- ・3次元MCの取組み
- ・3Dカメラ地形計測事例

## No.679 「建設の施工企画」 2006年9月号

〔定価〕1部840円(本体800円)  
年間購読料9,000円

平成18年9月20日印刷

平成18年9月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 小野 和日児

印刷所 株式会社技報堂

## 発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支部	〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支部	〒950-0965 新潟市新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支部	〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支部	〒810-0041 福岡市中央区大名 1-8-20	電話 (092) 741-9380